（参考様式５－２）

就業機会の減少に関する申立書

私は、就業機会の減少に関する関係書類の提出が困難であることから、以下のとおり申立書を提出します。申立する事項について相違ありません。

川崎市長　　様

2025年　○月　○日

ﾌﾘｶﾞﾅ

氏　　名　　○○　○○○

生年月日　　○○○○年　○月　○日

電話番号　　○○○－○○○○－○○○○

これまでの平均月額収入	○○○，○○○円　※1
申請月の収入	○○○，○○○円
自己の責に帰すべき理由又は自己の都合によらない収入の減少の具体的内容	（例１）フリーランスのスポーツインストラクターをしているが、 契約しているスポーツジムが一部休業し、シフトが減少した。 （例２）フリーランスで通訳をしているが、参加予定であった通訳の仕事が中止となった。 （例３）アルバイトを２つ掛け持ちしていたが、景気の悪化により1つの事業所が休業となりシフトが減少した。
証拠書類の提出が困難な理由	（例１）休業等の連絡が口頭連絡のみであったため。 （例２）自営業だが、契約のキャンセルなどが電話や口頭であり就業の機会が減少したことを証明する書類がないため。 （例３）フリーの仕事で、個人で仕事を取っており、就業の機会が減少したことを証明する書類がないため。

※１　休業等以前の６か月間の平均を目安として算出して下さい。